

令和5年度

八高 学びの祭典



令和5年度

八高 学びの祭典

DATE 2024/2/10 (SAT) 9:00-15:00

場所 県立八鹿高校 体育館 ほか

午前9:00～ 第1部

学習成果の発表会

- 1 高大接続改革推進事業 報告
- 2 総合的な探究の時間 報告
- 3 学校活動 報告
- 4 分科会・展示発表(ポスターセッション)

午後1:00～ 第2部

文化部合同発表会



ポスター制作 2年 中村 駿汰

「結ぶにまかす知の泉」

校長 山本 宏治

皆さんが学校教育で学んでいる意義を、学習指導要領をもとに次のように整理します。

《厳しい挑戦の時代》

生産年齢人口の減少	} 社会構造や 雇用環境の 急激な変化
グローバル化の進展	
絶え間ない技術革新	

予測困難な時代に、めざす「学び」は

一人ひとりが持続可能な社会の担い手として、その多様性を原動力とし、質的な豊かさを伴った個人と社会の成長につながる新たな価値を生み出していくこと

「八高学びの祭典」が、「質的な豊かさ」すなわち「人としての幸福」を求めて多様な「知」が交流する場となること、同時に、その交流を通じて「知」の融合がもたらされ、結果として個人や社会の成長につながる新しい価値を創造する一歩となることを確信します。

- 第1部 学習成果の発表会 -

プログラム

総合司会：放送部 2年 吉井 雄亮 1年 日下部 碧海

◆◆◆ 主な日程 (予定) ◆◆◆

9:00～ 開会行事

9:05～ **学習成果の発表1～3**

10:45～10:55 休憩・移動

10:55～11:25 **分科会・展示発表**

11:25～ 閉会行事 (※リモート)

1 高大接続改革推進事業 報告

①科学探究I

「科学探究I 活動報告」

1-1H 川端 咲都 熊田 和紗 田中 大成
野田 拓海 福岡 征和 吉井 優多

自然科学コースでは、ポスター発表や、探究型実験講座、3校対抗ディベート対決などさまざまな探究活動に取り組んできました。この活動で、正解のない問いを自分なりに追究することの難しさと楽しさを知りました。来年度は自分たちの課題を見つけ、それぞれのテーマに沿って課題研究を行っていきます。今回の発表では、今年度の取り組みについて紹介します。

②-1 科学探究II

「消滅可能性都市と認知症」

2-1H 中村 駿汰

少子高齢化が進み、私の地元・村岡も同様に多くの課題を抱えており、その一つが高齢者福祉に関するものだ。「一般的なサービス、システムで十分なのだろうか？」という問いに、私は「十分でない」、つまり「その地域に合ったものが必要だ」と考える。特に、今後ニーズが拡大していくであろう認知症を対象として探究を始めた。今回はその経過を発表する。

3校合同中間発表会



②-2 科学探究Ⅱ

「地球を救え!!!牛乳からプラスチック」

2-1H 石田 莉子 西谷 悠希

今、世界各国でプラスチックごみの増加による環境悪化が問題となっている。それを止める手段として、私たちは、生分解性プラスチックに目を付けた。今回の研究では、成分の違う牛乳や豆乳でプラスチックを作り土に埋めて様子を観察した。結果、低脂肪牛乳が一番製品のプラスチックに近づけることができた。しかし、上手く分解することができなかった。今後は、分解させるために土の状態の条件を変えて研究を続ける予定だ。

2 総合的な探究の時間 報告

①総合探究Ⅰ

「総合的な探究の時間 活動報告」

1-2H 吉岡 来紀 1-3H 藤岡 杏

1-4H 田路 恭大 1-5H 鴨谷 空

取り組みの中の「学問・職業探究」では、生徒一人一人の興味を持った大学の学部・学科や専門学校、職業について調べました。これらについて調べることで、卒業後の進路が明確になりました。また、その職業に就くために必要な資格や適性がわかり、以前よりもはっきりと進路について考えることができました。その内容について紹介します。

②-1 総合探究Ⅱ

「お茶や雨で濡れた教科書を綺麗に元に戻すことはできる？」

2-4H 中島 和樹

濡れてしまった本や教科書を効率よく、そして綺麗に乾かす方法を紙の性質から考察して探ります。インターネットで調べた方法を参考にしどの方法が最も良いかを実際に実験を行い調査しました。最後は、脱色作用のあるものを使い、しわだけでなく紙についた汚れを落とす方法も研究しました。



3校合同ディベート大会に向けて

②-2 総合探究Ⅱ

「ICT教育について」

2-5H 田村 絢奈

将来、教育について学びたいと思っており、現在教育現場で注目されているICTのより良い活用法を考えようと思いました。そこで先生や生徒にICT教育に関するアンケートを実施して現場の声を集めてまとめました。発表会では、私が考える教育現場での効果的な利用法や活用法を提案したいと思います。

3 学校活動 報告

海外短期語学研修

「短期語学研修 in オーストラリア」

2-5H 石川 陽一郎

1-5H 門脇 和香 真田 あみ

昨年末、1.2年生約30名は、短期語学研修としてオーストラリアのケアンズに行きました。日本とは異なる環境で生活をしてみて、様々な発見があり、貴重な体験をすることができました。そこで実際に現地で見聞きして学んだオーストラリアの暮らしや自然環境について、また、人との関わりを通じて感じたことを発表します。



オーストラリアにて

4 分科会・展示発表(ポスターセッション)

A:科学探究Ⅱ①・・・【21番教室】

「英語を話せるようになりたいあなたへ

～グローバル化と教育について～

2-1H 絹巻 湧作

私は「グローバル化と教育について」研究した。その理由は、故郷である朝来市を将来活性化させるために、将来を担う優秀な若者を育てる必要があると考えたからである。まずは、本校一部生徒に英語に対する意識と実際の能力についてアンケートを取った。また、フランスの高校生にも同様の調査を行ったが、両方で結果は大きく異なっていた。これらのことから「英語に対する概念や考え方」の違いが、英語能力に大きな違いを生んでいるのではないか、という結論に達した。

B:科学探究Ⅱ②…【22番教室】

「美人の条件」

～令和の「やまとなでしこ」とジェンダーギャップ解消に向けて～

2-1H 稲津 陽菜 黒田 桜 吉田 千愛

美の基準は人によって異なるため、美人を定義することは難しい。私たちは美人の定義を「生き生きと自分らしい生き方をしている女性」と仮定とし、現代の女性の生き方について探究に取り組みました。美人の条件として容姿を重視する傾向があるが、容姿はなかなか変えることができない。しかし、生き方は変えることができる！！私たちが考える「令和のやまとなでしこ」を提案します。

C:科学探究Ⅱ③…【23番教室】

「住宅革命」

2-1H 甲斐 敬乙

私は「快適な住宅」について研究しました。理由は、快適な住宅はどのように設計されるのかということに興味があったからです。そこで、クラスに対して行った「快適」についてのアンケートや、インターネット、本などの情報をもとに設計図を作成しました。それにより、現代の建築は、「快適さ」が追及された完成度の高いものであることがわかりました。



外部講師によるワークショップ・講演会

D:総合探究Ⅱ①…【24番教室】

「砂糖の結晶の大きさによる影響」

～クッキーを作る際砂糖の種類を変えて作ったら
どのような違いが生まれるのか～

2-2H 飯森 そら

お菓子を作るとき、同じ名前のお菓子であってもレシピによって砂糖の種類が異なっていることに疑問を持ったのでこの研究をしました。同じレシピで砂糖のみ種類を変えて、粉糖・上白糖・グラニュー糖・白ザラ糖の四種類のクッキーを作り、実際に十五人の人に食べてもらい甘さや硬さの感じ方、焼け方、断面、焼けた表面などを比べました。

E:総合探究Ⅱ②…【25番教室】

「円滑なコミュニケーション」

2-2H 井上 茅奈

私は人と話すことは好きなのですが、初対面の人やあまり話したことがない人と話すのは緊張してしまいうまく話せません。そこで、「話しかけやすいと思われる人」「清潔感のある人」という二つのテーマに基づいてアンケートを実施し、初対面の人でも上手くコミュニケーションをとれるようになるにはどうすればよいのかについて探究しました。

F:総合探究Ⅱ③…【11番教室】

「但馬について」

2-3H 小林 ほのか 正垣 天愛

私たちが生まれ育った但馬は素晴らしい地域だと思っています。しかし、その素晴らしさが伝わっているかというところが思いません。今よりさらに多くの人に知ってもらうことで観光客や移住する人、帰ってくる若者が増えるので地域がさらに活性化するのではないかと考えました。そこで、但馬の魅力を他地域にどのように発信すれば良いのかを探究しました。

G:総合探究Ⅱ④…【12番教室】

「色が人に与える影響」

2-3H 才木 彪ノ介

私は絵を描くことが好きでよく描いている。絵を見る人は絵のどの部分に影響を受けているのかが気になった。私が絵で伝えたいことを見る人が確実に感じ取れるようにするにはどうすれば良いのか。そこで私は「色相」「彩度」「明暗」の3つに着目し、見る人にどのような影響を与えるのか探究を行った。

H:総合探究Ⅱ⑤…【13番教室】

「電気自動車はガソリン車より本当にエコなのか」

2-4H 間戸場 悠人

私は幼いころから自動車に興味がありました。電気自動車(EV)は「エコ」といわれますが、ガソリン車と比べるとどれくらい「エコ」なのか知りたくなりました。EVについて調べるうちに、走行時はCO2を排出しませんが製造時や解体時には多くのCO2を排出することがわかりました。技術革新(イノベーション)による今後の改善の可能性も含めて発表します。

I:総合探究Ⅱ⑥…【14番教室】

「推しによる影響

～推しがいると経済と生活はどうなるのか～

2-5H 安積 莉央

現在、「推し」の概念が多様化し、「推し」を題材にする作品がふえています。そこで、注目度が高い「推し」によって経済効果をあげられるか、また、「推し」の存在でどのような充実感などの違いがあるか研究しました。アンケートを実施し、その分析から経済効果と生活との関連や影響について発表します。

J:家庭基礎…【15番教室】

「山の水を有効活用！～祖父の水源地の再開発～」

1-5H 渡辺 一

祖父が野菜の水やりなどに使っていた水源地が、温暖化の影響や土砂の堆積等により使用できない状態に…また、祖父の高齢化により祖父の力では再開発が難しいと判断したため、現状調査→再開発計画→再開発工事→竣工検査の流れで計画を立て、取り組んだ内容をポスターで発表します。

K-1:県立豊岡高等学校①…【生徒集会室-1回目】

「ビタミンCの美白効果の応用」

2年 黒田 裕斗 三浦 伊織

ビタミン C は化粧品に多く含まれており、人の肌に対して美白効果を持っていることで知られています。更にペットボトルのお茶の酸化防止剤としての一面も持っています。そこで私たちはビタミン C の抗酸化効果に着目し、人への効果や植物に応用できるのではないかと考えました。私たちは、バナナを用いた実験を通して、ビタミン C の可能性や社会的意義について調べました。

K-2:県立豊岡高等学校②…【生徒集会室-2回目】

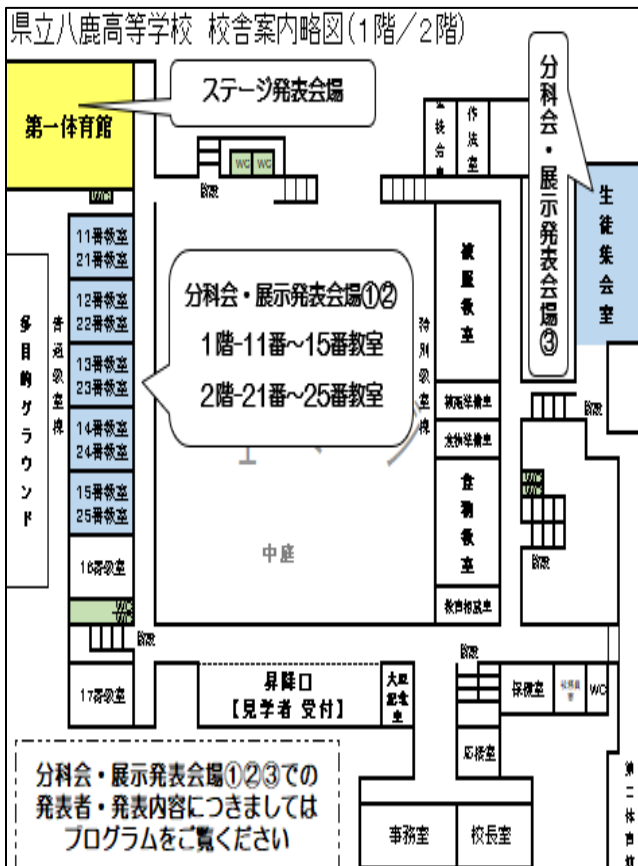
「Re:クレヨン chan

～廃油と野菜の端材でエコなクレヨンが出来るんじゃない?～

2年 市場 信玄 宿南 涼香

谷垣 愛花 寺川 依万里

食品廃棄物は現在、大気汚染や食品ロスなどの様々な問題を抱えている。そこで私たちは、「家にあるもので誰でも簡単にエコ活動を」をコンセプトに、食品廃棄物を利用した環境にやさしいクレヨン = Re クレヨンを製作しようと試みた。はじめに、調理後に出る油と野菜の端材で Re クレヨンを作ることにした。その後実験を重ね、エコで質の良い、SDGs の課題に貢献した Re クレヨンを作る上で最適な物質の配合割合を突き止めた。



ご来校いただいた皆様へ

本日はお忙しい中、「八高 学びの祭典」にお越しいただき、ありがとうございます。このような機会に、八高生が学校生活のなかで、日々取り組んでいる様子が少しでも皆様に伝われば幸いです。

今後の活動の参考といたしますので、下記のQRコードよりアンケートにご協力ください。よろしくお願いいたします。

※QRコード

ご来校いただいた方に
回答していただきます